１　指導者　石田　聖香

２　単元名　「世界一美しいぼくの村」

３　本単元で身に付けたい資質・能力

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 本単元で目指すレベル | **１** | **２** | **３** |
|  | 知識 |  | ○ |  |
| ② | 思考力・判断力・表現力 |  | ○ |  |
| ③ | 共感的な人間関係 |  | ○ |  |
| ④ | チャレンジ精神 |  | ○ |  |

４　単元設定

　(1)　単元概要

　　本単元は，学習指導要領，第４学年の内容Ｃ「読むこと」（１）イ，カに示された指導事項に関する指導のために設定されたものである。

(１）イ　登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述を基に捉えること。

カ　文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに

気付くこと。

本教材は，アフガニスタンのパグマンという村に住む少年のヤモの視点で，内戦が続く中，戦争に行った兄を心配しながら町に果物を売りに行く一日の様子を描いた作品である。この物語は，パグマンについて説明してある「前ばなし」，町で果物を売る「展開」，その年の冬のことが書かれている「クライマックス場面」という構想になっている。また，この物語には，「後ばなし」が無く，物語のクライマックス場面は，「その年の冬，村は戦争ではかいされ，今はもうありません」という衝撃的な一文で終わる。それまで，平和な日常を描いていた物語が，その最後の一文で一変する。物語で読み取った家族愛や郷土愛と物語の最後の一文について感じ取ったことや考えたことを話し合うことを通して，一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせることをねらいとしている。

(2)　単元目標

物語の結末について感じたことを伝え合い，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。

◯幅広く読書に親しみ，読書が，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。

（知識及び技能）

　　◯「読むこと」において，文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。　　　　　　　　　　　　　　（思考力・判断力・表現力等）

　　◯これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし，学習の見通しを持って，進んで感じ

たことや考えたことを伝え合い，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。

（学びに向かう力，人間性）

　(３)　児童の実態及び指導の手立て

　　本単元に関するレディネステスト（令和３年１月１２日実施）の結果は，以下の通りであった。

①　文章から場面の様子を読み取る問題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　６４％

②　誰の会話文か人物名を読み取る問題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　５６％

③　登場人物が言いたかったことを読み取る問題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　７２％

レディネステストの結果から，文章から書き抜いたり，誰の会話文か人物名を答えたりすることができる児童は，約６０％だった。この結果から，文章を読んで根拠となるところを正しく抜き出したり，文章中の会話文を誰が言っているのか意識したりすることができていない児童が約４０％いることが分かった。さらに，登場人物が言いたかったことを叙述に即して書き出す問題も，約３０％の児童ができていなかった。このことから，文章を正しく読み取ることができていない児童がいることが分かった。また，普段の授業の音読に関しては，文節が分からず文章をすらすら読めない児童もいる。

また，本学級の標準学力調査の正答率の平均値は８５．７％であった。そのうち正答率が４０％未満の児童が１人いる。この児童は，書く能力において３８．５％，読む能力に関しては，２８．６％と低い。

このことから，目的意識を持たせて音読を行ったり，物語の様子や登場人物の気持ちを叙述に即して考えたりするような問いを設定していく。

指導改善のねらい・全体への手立て

・教材文を短冊にしたり，音読も読むところを場面ごとに指定したりするなど，学習内容の焦点化をする。

・音読をする際に，何について考えながら読むのか先に伝えておいてめあてを持って音読をさせる。

・グループ活動をさせる際には，まず自分の考えを書かせ，共通点や相違点に気を付けて聞くように促して，それぞれの考えに違いがあることに気付かせる。

・内戦の続くアフガニスタンの様子を想像しやすくするために，世界地図を活用しながら場所や，国の状況を伝えたり，関連する絵本の読み聞かせをしたりする。

(4)　個の児童実態及び指導の手立て

該当児童の実態（Ａ児）

つまずきの要因

・ひらがなを正しく理解していない。

・発音に課題がある。

・文章をすらすら読めない。

・言葉のまとまりを捉えられていない。

児童の実態

・「だ」⇄「ら」，「れ」⇄「で」と書き間違えることがある。

・登場人物の気持ちを考えたり，叙述から読み取ったりすることが苦手。

・ノートをまとめたり，板書を写したりするのに時間がかかる。

指導改善のねらい・個への手立て

・登場人物の会話文の上に色シールを貼り，誰が言ったセリフかを捉えやすくする。

・登場人物の会話文に感情ごとに色分けをして，気持ちを想像しやすくする。

・ひらがなと漢字を正しく理解させるために，漢字の小テストを毎時間行い，新出漢字を覚えさせる。

・読めない漢字には読み仮名を書いたり，文節に印をしたりして，すらすら読めるようにする。

・学習の見通しを持たせるために，単元全体の見通しを教室に掲示する。

・一部だけ書けばいいワークシートを用意する。

・叙述と挿絵を線で結び付ける。

(５)　単元構想の工夫

本単元の学習において，常に書かれている叙述を根拠にしながら物語を読んでいくことで，文章の構造と内容を把握させ，文章を読んで感じたことや考えたことを共有させたい。

指導にあたっては，単元のゴールに「読書会を開いて自分の思いを友達に伝え合おう」と設定した。読書会では，「世界一美しい村へ帰る」を読んで感じたことや考えたことを共有していく。そこで，一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせたい。そのためには，登場人物の関係を整理しながら心情を読み深めていく。また，最後の一文の「その年の冬，村は戦争ではかいされ，今はもうありません。」に着目して感想を交流することで，登場人物の温かい心のつながりや郷土への思いを読み取らせていく。これらを通して，自らの感想を持ち，読書会で共有させ，一人一人の感じ方などに違いがあることに気付かせていきたい。

(6)　資質・能力とのかかわり

「思考力・判断力・表現力」に関して，それぞれの場面の出来事と終わりの場面の出来事の関係を考えたり，登場人物の関係性を読み取ったりすることを通して，自らの感想を表現する力を付けていきたい。

「共感的な人間関係」に関して，ペア学習やグループ学習，協同学習を行う場を設定する。物語の感想などを共有し合うことで，共通点や相違点を見つけさせる。そこで，一人一人の考え方に違いがあることに気付いたり，似た考えを見つけたりすることを通して，グループで活動する楽しさを感じさせたい。

「チャレンジ精神」に関して，単元の最後に物語の感想を共有する場を設定し，その場を読書会とすることで，児童に「読書会でどのように紹介すればよいか」という課題意識を持たせたい。また，他の本を読んで，友達に本を紹介したり，本の感想を共有したりするチャレンジ精神を育てていきたい。

　５　単元計画（全８時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小単元 | 学習内容 | 本時のねらい | | | 児童の「学び」の姿  (例)～している | 育成できる  資質・能力 | | |
| 知 | 思 | 学 |  | ② | ③ | ④ |
| 学習の見通しを立てる。（１） | 〇全文を読んで，心に残ったことを書いて，交流する。 |  |  | ○ | ・作品に興味を持ち，感想をノートに書いて交流している。 |  |  | ○ |
| 「世界一美しいぼくの村」を読んで物語の表現の仕方を考え，感想を伝え合う（６） | ○物語の設定を捉える。（時，場所，中心人物，対人物等） | ○ |  |  | ・読みの観点（時，場所，中心人物，対人物等）を基に，物語の設定を考えている。 | ○ |  |  |
| 〇教材文中の表現に基づいてヤモの人柄を考える。 |  | ○ |  | ・中心人物のヤモの人柄を行動や会話などの叙述をもとに見つけて，理由を説明している。 | 〇 | ○ |  |
| 〇ヤモの家族を思う気持ちやふるさとを思う気持ちを読み取る。（２） |  | ○ |  | ・行動や会話などの叙述をもとに，中心人物のヤモの家族やふるさとを思う気持ちを読み取っている。 | ○ | ○ |  |
| 〇最後の一文を読んで  感じたり，考えたり  したことを伝え合う。（本時） |  | ○ |  | ・最後の一文を読んで感じたことや考えたことを，叙述を基にして伝えている。 | ○ | ○ |  |
| 「世界一美しいぼくの村へ帰る」を読み，感想を伝え合う（２） | 〇「世界一美しい村へ帰る」を読み，感想を書く。 |  |  | ○ | ・「世界一美しい村へ帰る」の最後の一文に着目し，感じたことや考えたことをまとめる。 | ○ |  | ○ |
| 〇読書会を開いて，互いに感想を聞き合う。 |  | ○ |  | ・読書会で互いに感想を聞き合い，一人一人考え方や感じ方が違うことに気付いている。 |  | ○ |  |

６/８時間　国語科学習指導案

１　学　　年　第４学年　男子１５名　女子１２名　計２７名

２　本時の目標

　　　最後の一文を読んで感じたことや考えたことを，叙述を基に伝えることができる。

３　本時の「学び」を実行する振り返りと評価規準

|  |  |
| --- | --- |
| A | 最後の一文を読んで感じたことや考えたことを，叙述を基に題名と繋げて伝えている。 |
| B | 最後の一文を読んで感じたことや考えたことを，叙述を基に伝えている。 |
| C | 感じたことや考えたことを伝えていない。 |

４　板書計画

　　　世界一美しいぼくの村　　　　　　　　小林　豊

めあて

　今でもこの村に残っているもの

・戦争で村は破壊されてしまったけど，家族を思う気持ちや村を思う気持ちは破壊されず，今もこの村に残っている。

・お兄さんを思う気持ちや，お父さんがヤモを思う気持ちなど，家族の絆は今でもあり続けている。

・この村に住んでいた人の思いや，パグマンの村の自然が美しいから，この物語の題名は「世界一美しいぼくの村」



・「村は戦争で破壊され、今はもうありません。」

→戦争をしてもいいことはない。

→美しい自然がいっぱいのパグマンが無くなって悲しい。

　→お兄さんが帰ってくる場所がない。

　→またお兄さんとさくらんぼを取りたい。

・またいつかパグマンにもどりたい。

　→あのなつかしいにおいがするパグマンにもどりたい。

　→自然がいっぱいのパグマンにもどりたい。

・「その年の冬」

　→春が来る前に村が破壊された。ヤモは春を楽しみにしていたのにかわいそう。

　→春になればお兄さんが帰って来るかもしれなかったのに。

・「今はもうありません。」

　→前まであった美しい村はもうここには無い？

最後の一文を読んで感じたり考えたりしたことを伝え合おう。

**その年の冬、村は戦争ではかいされ、**

**今はもうありません。**

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習展開 | 「学び」の過程 | ◇全体への手立て  ◆他教科等との関連  ※個への手立て |
| ・児童の思考の深まり(具体)　○教師の問い（具体） |  |
| 課題設定・情報収集 | 問題場面の設定  課題設定  解決の見通し | 〇第４場面と第５場面を音読しましょう。  ◯今日は最後の場面です。昨日最後の場面に何が書かれているか書いてもらったアンケートを言います。  ・「パグマンの村に春が来ました。お兄さんも村に帰ってきて幸せに暮らしました。」  ・「村は無くなり，人もいなくなりました。」  〇今日は最後の一文を読んで感じたり，考えたりしたことを伝え合いましょう。  めあて  最後の一文を読んで感じたり，考えたりしたことを伝え合おう。 | ◇本時の課題設定に活用するために，前時に最後の場面にはどんなことが書かれているかアンケートを取る。 |
| 整理・分析 | 自力解決  集団思考  協働学習で「学び」を確かめる | ◯感じたり，考えたりしたことをワークシートに書きましょう。  ・「村は戦争で破壊され」と書いてある。村が無くなってしまったなんて戦争をしてもいいことはない。  ・美しい自然がいっぱいのパグマンが無くなって悲しい。  ・村は無くなってしまった。お兄さんが帰って来る場所が無くなってしまった。またお兄さんとさくらんぼを取りたい。  ・またいつかパグマンに戻れる日は来るのかな。  ・あのなつかしいにおいがするパグマンにもどりたい。  ・自然がいっぱいのパグマンにもどりたい。  ・「その年の冬」と書いてあるから，春が来る前に村が破壊された。ヤモは春を楽しみにしていたのにかわいそう。  ・春になればお兄さんが帰って来るかもしれなかったのに。  ・「今はもうありません。」と書いてある。「もう」ということは，前まであった美しい村はもうここには無いということかな。  話題の共有  村は全て破壊されてしまったのかな。  今でもこの村に残っているものは何だろう。  ・戦争で村は破壊されてしまったけど，家族を思う気持ちや村を思う気持ちは破壊されず，今もこの村に残っている。  ・お兄さんを思う気持ちや，お父さんがヤモを思う気持ちなど，家族の絆は今でもあり続けている。  ・この村に住んでいた人の思いや，パグマンの村の自然が美しいから，この物語の題名は「世界一美しいぼくの村」なんだと思う。 | ◇読み取ったことをワークシートに書くことが難しければ，挿絵を使ってヤモに焦点を当て考えさせる。  ◇挿絵だけではなく，本文に返って根拠となる文章を言わせる。  ※教科書の会話文に感情ごとに色分けをして，ヤモが「世界一美しい村」だと感じた部分の気持ちを考えさせる。  ※今までの蓄積されたワークシートを振り返らせる。 |
| 実行・振り返り | 「学び」の実行  「学び」の振り返り | ◯友達の考えを聞いて思ったことはありますか。  ・戦争で全て破壊されたと思っていたけど，大切なものが残っていた。  ・ヤモがお兄さんを思う気持ちが強いことが分かった。  ・家族の愛や，村を思う気持ちがこの物語から伝わって来た。  ・ヤモ達家族が今でも強い絆で繋がっているといいなと思った。 | ◇ふりかえりを書かせて，最後に発表させる。 |